

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 081	提案機関名 秦野市農業協同組合
要望問題名 特定外来生物 スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 約3年前から秦野市鶴巻地区 伊勢原市・平塚市境の善波川流域で、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生が認められました。まだ周辺の水田で水稻苗の食害は認められておりませんが、一部の水田を発生源として水路によって広がりを見せています。 また卵塊は、蛍光ピンク色で4日に1回500粒を産み、成貝は広東住血線虫という寄生虫を宿すということで手作業の駆除もおもように捗りません。現在は指導として収穫後の石灰窒素の施用と、パダン粒剤の散布を試みているところですが、食害防止の効果にしかすぎず、撲滅にはいたっておりません。新しい農薬も出てると聞いております。九州や千葉県のように爆発的に増殖してからでは遅いですので、何か手立てはないか研究していただきたいと存じます。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	① 実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	スクミリンゴガイに関する研究は、その防除法の開発を含めて、独法研究機関等で実施されています。効率的な新農薬やその他の防除方法などの関連情報を収集し、積極的に情報提供に努める等、現地における防除に協力してまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			